



国際ロータリー 第2660地区

2004～2005年度

地区委員会

活動報告書



ガバナー 宮田 宏章

目次

目次

地区委員会の皆様の活動に感謝して	1
地区ガバナー指名委員会	2
意義ある業績賞委員会	3
RI 100周年委員会	4
クラブ奉仕部門	
クラブ奉仕委員会	6
拡大・増強委員会	8
情報・広報委員会	9
職業奉仕部門	
職業奉仕委員会	11
社会奉仕部門	
社会奉仕委員会	13
青少年奉仕部門	
新世代合同委員長会議	15
青少年活動委員会	16
ローターアクト委員会	20
インターアクト委員会	22
国際奉仕部門	
国際奉仕委員会	24
世界社会奉仕委員会	25
青少年交換委員会	26
ロータリー財団部門	
ロータリー財団部門委員会	27
財団情報・増進委員会	28
財団奨学金・学友委員会	29
研究グループ交換委員会	32
財団人道的補助金委員会	34
米山奨学部門	
米山奨学委員会	36
地区大会	38
ロータリーの友	40
財務委員会	42

ロータリー創立100周年記念の一年間に亘る
地区委員会の皆様の活動に感謝して

ガバナー 宮田 宏 章

本年度はロータリー創立100周年の記念すべきおめでたい年でありました。

この年度に地区委員会委員を担当して頂きました会員の皆様には、恒例の委員会活動の他、100周年記念プロジェクトや行事に御尽力・御努力賜り、100周年らしい、地区としてクラブとして歴史に残る成果並びに成功に導いて頂きました。

まさに「Celebrate Rotary」そのものであり、そのご奉仕に対し心より感謝と敬意を表します。

グレンE.エステス・シニアRI会長は、100周年社会奉仕、双子クラブ・プログラム、識字率向上、保健、水、ロータリー家族、ポリオ・プラス、会員増強、財団への支援等に関し、全世界の会員の皆様に心からの援助を要請されました。

Celebrate Rotary 100years — ロータリーを祝おう 100年の歩み

このテーマのもと、各委員会はそれぞれの使命を果たすべく活動され、その成果を挙げて頂きました。そしてこれらの中には100周年と名を冠したIMを含む諸会議・プログラムや3大紙の一面広告及びその他多くの奉仕がマスコミにも取り上げられ、ロータリーの広報にも大いに貢献されました。

次に、井上年度よりスタートし、若林年度そして本年度と引き継がれた地区の改革があります。憂慮すべき状態であった地区財政が地区組織のスリム化（委員会数の削減の継続）により健全化致しております。本年の私のスローガンの一つ「金のかからぬロータリー」により地区は勿論、クラブ運営の面でも財政の健全化への努力をされた年でもありました。地区の情報提供等の支援により、クラブ管理以外にクラブが様々な奉仕プログラムを見だし、活動され、「ワイワイガヤガヤ」クラブの活性化に大いに結びつけられたのであります。

また、3年目を迎えた「ガバナー補佐制度」をより実効ある制度にする為に、皆様の御協力を得て、補佐の方々から各委員会の持つ情報や、ノウハウを伝授して頂きました。またIMごとの幹事会に御出席頂き、クラブの運営上の細かい点にまで御指導頂き、補佐に対する信頼が一層高まり、この補佐制度も一応定着してきたのではないかと喜んでおります。

神崎ガバナー年度に本年度の多くの委員の方々が引き続き地区委員会の構成メンバーとして残られ、次年度に掲げられる方針について支援を頂けることは、誠に力強いばかりであります。第2660地区の委員会が、益々素晴らしい成果を挙げられ、86ロータリークラブの発展に大いに寄与されることを祈念申し上げます。

地区ガバナー指名委員会

委員長 若林紀男 (大阪東)

委員 吉川謹司 (東大阪東)

同 柏木尚 (豊中)

同 寺田和之 (大阪)

同 井上暎夫 (千里)

ガバナー月信第1号(7月号)において、2006～2007年ガバナー・ノミニー候補推薦依頼を地区内全クラブに行いましたが、期日迄にお申し出がありませんでした。そこで、国際ロータリー細則第13条及び当地区ガバナー指名委員会規約に基づき、2004年10月1日に開催された委員会において、慎重審議の結果全員一致をもって、大阪南ロータリークラブ会員 岩田宙造君を2006～2007年度国際ロータリー第2660地区ガバナー・ノミニー候補者として推薦することに決定致しました。これにより2005年2月21日宮田ガバナーによって、ガバナー・ノミニーの宣言がなされました。

又、2004年度規定審議会においてRI細則13.010項の変更がなされ、それに伴い2007～2008年度ガバナー・ノミニー候補推薦書提出を本年度中(6月末日)に行わねばならない事となり、月信第9号(3月号)にて地区内全クラブ対し2007年～2008年ガバナー・ノミニー候補推薦依頼を行いましたが、期日(2005年4月30日)迄に推薦がありませんでしたので、国際ロータリー細則第13条及び当地区ガバナー指名委員会規約に基づき、2005年5月6日開催の委員会において鋭意検討の結果、全会一致をもって池田くれはロータリークラブ会員 新谷秀一君を2007～2008年度国際ロータリー第2660地区ガバナー・ノミニー候補者として推薦することに決定致しました。

これに基づき、宮田ガバナーによって2005年5月25日ガバナー・ノミニー宣言がなされました。以上、本年度は異例の2名のガバナー・ノミニー候補者(2006～07年度、2007～08年度)を指名致す事となり、委員会の皆様には大変ご苦勞をおかけ致しました。心より感謝申し上げ、報告とさせていただきます。

意義ある業績賞委員会

委員長 若林紀男 (大阪東)

委員 寺田和之 (大阪)

同 井上暎夫 (千里)

RI意義ある業績賞の目的は、地域社会の問題やニーズに取り組んだクラブ活動を表彰することによって、新しいプロジェクトの実施がクラブ活動にとって重要であるとの認識を高めることにあります。

本年度の意義ある業績賞への推薦を全クラブにお願い致し、その締め切り期日を2004年12月24日と致しておりましたが、期日迄に推薦が皆無でありましたので、期日を2005年1月24日迄と延期させて頂きましたところ、5クラブより申請を頂きました。

同年1月31日に宮田ガバナーもご出席の上、委員会を開催致し、慎重なる協議の結果、大手前ロータリークラブのプロジェクト「整肢学園園児をプロ野球公式戦へ招待」をRIに推薦することに決定致しました。推薦書をRI日本事務局に送付し、手続きは全て完了致しました。本年5月16日付でRI本部より大手前ロータリークラブ松浦会長宛にグレンE.エステス・シニアRI会長よりのメッセージと併に「2004～2005年度意義ある業績賞」の正式な認定状が地区に届きました。

贈呈表彰は12月10日開催の地区大会に於いてガバナーより行われる予定であります。

表彰対象のプロジェクト内容は、単に園児をプロ野球観戦に招待するのではなく、クラブメンバー全員が参加し、ハンディある園児達を目線に立って行動を助け、心を通わす事の大切さを学び、又園児達にとっても身をもって体験した事により、心に刺激を受け、前向きな意欲をもってくれることを期待したものであります。

RI100周年委員会

顧問 パスト・ガバナー 戸田孝 (八尾)

委員長	瀧川紀征	(吹田西)	
副委員長	荒井敬一郎	(大阪北)	地区情報・広報委員長
委員	西山敏之	(豊中)	第1組 ガバナー補佐
同	中西和也	(千里メイプル)	第2組 ガバナー補佐
同	大川進一郎	(大東)	第3組 ガバナー補佐
同	安田嘉雄	(東大阪)	第4組 ガバナー補佐
同	神崎茂	(大阪西)	第5組 ガバナー補佐
同	小倉裕	(大阪天満橋)	第6組 ガバナー補佐
同	上野好清	(大阪天満橋)	第7組 ガバナー補佐
同	川上善司	(大阪平野)	第8組 ガバナー補佐

活動計画書に基づき、100周年記念事業の推奨と、それに関連した諸事業への参加を、ガバナー・ガバナー補佐の公式訪問の場などを通じて各クラブへ要請いたしましたところ、全クラブにおいて各種の記念事業が企画され、その計画書が提出されるとともに、記念例会もそれぞれ趣向を凝らせた演出で開催され創立100周年を盛大に楽しみ祝っていただきました。

- 1 地区100周年委員会の活動計画を各クラブに送付し、記念事業の計画と推進を要請。
- 2 各クラブに100周年記念事業推進のための委員会、もしくはそれに変わる担当部門の設置を要請
- 3 RI100周年記念児童画ポスターコンテストの応募作品の中から溝渕 愛弓さん(大阪城東クラブ推薦)の作品を最優秀として選出し、RI本部に送付
- 4 同作品が、第3ゾーンにおいて優秀作に選ばれ、RIより賞状の送付があったので、第6組のIM会場において保護者同席の上、賞状と記念品を贈呈。
- 5 本年度地区大会において100周年記念事業のパネル展示を行い27クラブから出展され、多くの会員に見ていただきました。
- 6 ロータリー創立100周年記念日にあたる2005年2月23日付け新聞朝刊(毎日・読売・産経40万部弱)に、情報・広報委員会と共同で全面広告を掲載。
- 7 RI100周年を祝うためグレンE. エステス・シニアRI会長が創設された「奉仕への貢献に対する

表彰状」には28名の推薦があり、選考委員会で次の5名が選ばれ、RI会長署名入りの表賞状と、地区ガバナーから記念品を贈呈しました。

橋本 秀雄 会員 (茨 木 RC)

岡本 直文 会員 (池田くれは RC)

古市 実 会員 (大 阪 北 RC)

津江 孝夫 会員 (大 阪 南 RC)

田中和一郎 会員 (吹 田 RC)

※ロータリー100周年にあたり、ロータリーの理想を実践する卓越した職業上の業績を上げられた地域の人々を表彰するもので、各クラブから18名の推薦があり次の8名の方が選ばれ、RI会長署名入りの賞状と地区ガバナーから記念品を贈呈しました。

田伏 清 氏 (大 阪 堂 島 RC推薦)

押立 吉男 氏 (大阪北梅田 RC推薦)

乾 繁夫 氏 (大 阪 南 西 RC推薦)

唐澤 清司 氏 (大 阪 鶴 見 RC推薦)

佐野 信三 氏 (大 阪 淀 川 RC推薦)

中村 賢市 氏 (摂 津 RC推薦)

山地 和歌子 氏 (吹 田 RC推薦)

榎本 元次 氏 (吹 田 西 RC推薦)

- 8 ロータリー100周年記念として、「第1回国連子供環境絵画展」に出展され「国連グローバル500賞」を受賞して世界12カ国語に翻訳された絵本「地球の秘密」(坪田愛華ちゃん小学校6年作)を地区内公立小学校に寄贈(743小学校)
- 9 100周年記念事業と、100周年に関連した諸行事を各クラブから報告いただき、地区の100周年記念行事報告書を作成し、RIに報告する。

クラブ奉仕部門

顧問 パスト・ガバナー 若林紀男(大阪東)

クラブ奉仕委員会

委員長 井上家昌(東大阪東) 委員 中山賢(池田)
副委員長 中野憲城(大阪城東) 同 織田宗輔(東大阪)
委員 杉本全司(吹田江坂) 同 石田秀(大阪西南)
同 益田哲生(大阪北) 同 神前俊彦(千里)

- 1 2004年6月に開催されました規定審議会での採択案件と「手続要覧2004年」刊行に伴い次の活動を行いました。
 - (1) 2004年7月13日近藤PG、規定審議会地区代表議員のご報告をもとに、地区関係者、ガバナー、地区代表幹事、クラブ奉仕委員会で検討の上、地区内各クラブに対し、採択・制定案・決議案を速報として連絡しました。同時に、RIより各クラブ宛送付のある「決議報告書」について検討し、反対表明のある場合、期日まで提出するよう依頼しました。
 - (2) 2004年7月24日
第2680地区規定委員長会議(神戸ポートピアホテル)にオブザーバーとして出席し、規定審議会決定報告と質疑応答を聞く。
 - (3) 2004年9月11日
地区規定情報委員長会議(薬業年金会館)宮田G、近藤地区代表議員PG、神崎GE、各G補佐他、地区関係者と各RC規定・情報委員長出席。制定案・決議案の説明と出席者と質疑応答を行ないました。特に「RI定款」「RI細則」「標準クラブ定款」の改正事項のうち、クラブ活動に関係深いものの説明と今後RIに対して、規定審議会を通じて、積極的に意思表示することが大切であること強調しました。
 - (4) 各IM組幹事会、各クラブの卓話、ガバナー補佐会議を通じて改正内容の要旨を説明しました。
 - (5) 2004年8月21日、2005年2月5日、関西ロータリー研究会に出席、規定改正関係で、他地区と意見や情報交換を行なった。
 - (6) 「手続き要覧2004年」刊行について
各クラブにクラブ定款・細則の改正手続きを要請すると同時に、改正内容について新旧対比を作成。

(7) 規定審議会の付託案件についてRI理事会及びロータリー財団管理委員会の決定についてその内容を各クラブへ伝達した。

- 2 地区内全クラブへ「クラブ定款・細則・内規の整備状況」についてアンケートを実施し、その結果を検討した。又、ガバナー補佐会議に報告するとともに整備不十分のクラブについては委員会から個別に対応し、現在も未だ続行中です。
- 3 クラブ事務局のための「執務ハンドブック」の作成。クラブ事務局の日常業務を円滑に行なえるよう、各クラブに共通する執務項目についてハンドブックを作成し、それをもとにクラブ独自の執務を加えてもらう形を取っております。本年度末までに各クラブへ配布致します。
- 4 「ロータリーの親睦」について第2750地区と地区レベルの意見交換を行ないました。現状、「親睦」と「親睦活動」との混同が見られる点について対応策の意見交換。
- 5 2004年RIによって発表された「クラブ・リーダーシップ・プラン」(CLP)について、各クラブに関係資料を送付して、委員会としても、その内容を検討した。特にこのプランに関連して、「推奨ロータリークラブ細則」の改正内容が発表されたことから、各クラブからの照会や、他地区での動向、国際ロータリー日本事務局の意向等、情報収集しているが、今後一層、このプランについて地区全体で検討する必要があると考えられます。
- 6 地区内で使用されている各種マニュアルの収集を行なった。
例えば、
 - ・新入会員ガイダンス
 - ・親睦活動委員会マニュアル
 - ・会員増強・退会防止マニュアル
 - ・ロータリークラブへの会員勧誘マニュアル又、他地区、特に第2650地区作成の「ロータリー情報集」について、各クラブに購読を推奨しました。
- 7 2005年4月29日、30日、RI会長主催祝賀会議(新高輪プリンスホテル)の分科討論会5テーマの内「魅力あるクラブづくり」の分科会に参加し、全国各地区よりの意見を聞き、大変参考になった。

8 「卓話銀行」の利用について

本年度は一般講師は31名、ロータリアン講師21名の計52名の方に講師の登録をお願いしました。利用につきましては2004年7月～2005年4月に15件を利用クラブよりガバナー事務所へ報告がありました。

9 ガバナー事務所へ、各クラブからの照会事項が本年度一層増えてまいりました。どのような質問でも、何でも聞ける雰囲気作りと、それにより私達委員会も更に勉強する良い機会と考えております。国際ロータリー日本事務局の奉仕室のご協力にも感謝しております。

拡大・増強委員会

委員長 住吉正敏 (大阪城東) 委員 境高彦 (大阪城南)
副委員長 菅本憲市郎 (新大阪) 同 池尻誠 (八尾)
委員 上西宏侑 (大阪城東) 同 山田芙美江 (大阪そねざき)

今年度はロータリー創立100周年を迎え、一人でも多くの仲間と祝うことを願って活動しました。

1 RI3～4 (A) ゾーン地区会員増強委員長会議

2004年6月29日 (2地) 大阪国際会議場にて菅生直前RI理事、南園理事エレクトをお迎えして意見交換を行なった。

2 2660地区会員増強セミナー

2004年8月7日に (土) ヴィアーレ大阪にて、86クラブの会長、増強委員長にお集まり頂き、戸田PG、若林PGを講師に迎え、セミナーを開催しました。

3 増強月間に地区内5クラブに、委員会メンバーで卓話致しました。

4 会員増強・退会防止の手引の作成

前年度から各クラブより頂いたアンケート、10月迄の報告を元に編集し11月末に完成、各クラブの会長、増強委員長に送付 (12月)

5 全国地区増強委員長合同セミナー

グレンE.エステス・シニアRI会長をお迎えして、2004年11月28日広島リーガロイヤルホテルにてセミナーが開催され参加致しました。

情報・広報委員会

委員長 荒井 敬一郎 (大阪北) 委員 木村 芳樹 (大阪南)
副委員長 早嶋 茂 (大阪) 同 加登 孝 (大阪大淀)
委員 溝手 敦 (大阪東)

2004年～2005年度委員会活動目標

- 1 地区内各クラブの奉仕活動をガバナー事務所に吸い上げるパイプを整備する。そしてその活動を積極的にマスコミ他へ発信する。
- 2 各クラブ広報・雑誌委員長の啓蒙。
(広報・雑誌委員長は自分のクラブの活動に精通しているか)
- 3 目に見える奉仕活動をしていただく為の啓蒙。
- 4 ニュースに敏感になってもらう。
(地震や災害に対して速やかに奉仕活動を行う)
- 5 ロータリークラブは臆病であってはならない。
(陰徳を積むということではなくポリオ撲滅運動や、留学生に対する奨学金制度などをもっと広報していく)
- 6 経済人の社交クラブという世間のイメージからの脱却。

以上の活動目標を掲げ2004年7月2日、大阪国際会議場で地区情報・広報委員長会議を開催した。

特に今回の会議には宮田ガバナー、若林パスト・ガバナー、8人のガバナー補佐、松本地区代表幹事、井上クラブ奉仕委員長、住吉拡大増強委員長、瀧川RI100周年委員長らが出席され活発な討議が行われた。またRI創立100周年事業に関して、2005年2月23日に新聞媒体を使いRCの広告を出す企画が発表された。

11月19日は在阪マスコミ各社を招待しガバナーとの懇談会を開催した。席上ガバナーから各メディアに対し、「RCの奉仕活動に対し理解と協力」を要請した。2月23日読売新聞、毎日新聞、産経新聞に15段、1頁を買い切り、ロータリー創立100周年の記念広告を行う。今までロータリークラブがこのような広告を行うのは初めてで大きな反響を得た。

この企画に関しては宮田ガバナー、若林パスト・ガバナー、松本代表幹事が積極的に推進され、当初全国のロータリアンが1000円を拠出、1億2000万円を集め、全国紙1紙、ブロック紙、ローカル紙38紙に広告を出す企画が持ち上がった。当初、ガバナー会でこのプランを披露。

また34地区ガバナー会でも説明を行い総論賛成であったが、各地区の地区協議会が終了しており予算化が出来ないとの理由で全国紙展開は見送られた。

職業奉仕部門

顧問 パスト・ガバナー 寺田和之(大阪)

職業奉仕委員会

委員長	岩本洋子	(大阪そねざき)
副委員長	近藤嘉一	(大阪ユニバーサルシティ)
委員	辰野元彦	(大阪東)
同	宮後浩	(大阪住之江)
同	本田和正	(大阪南)
同	村木茂	(新大阪)
同	前田澄雄	(寝屋川)
同	畑田耕一	(豊中)
同	岩波清久	(大阪)

今年度、職業奉仕を「内なる職業奉仕」と「他者への職業奉仕」の2面に分けて活動することとしました。

「内なる職業奉仕」は、職業倫理を全うすること、そのために自己研鑽を怠らないことであると考えました。ロータリアンが毎週、例会に出席して、卓話を聞き、社会奉仕や国際奉仕を行うこと、これが自己研鑽であり、「内なる職業奉仕」であると思います。これは、各クラブの活動や各ロータリアンの活動に委ねるところが大きいと思います。

2番目の「他者への職業奉仕」は、ロータリアンが自分ごく自然に、毎日している仕事が、世の中のためになる鍵であること、特に青少年の未来そのものであることを自覚し、ロータリアンへ教育奉仕をお願いしました。このため、小学校・中学校へのロータリアンの出前授業を推進しました。これに呼応して、たくさんのロータリークラブが、特に、衛星都市で、小学校・中学校への出前授業を実施して下さいました。このようなクラブが徐々に増えてくることは、ロータリーの将来のために頼もしい限りです。

ロータリアンの教育奉仕について、12月3日の2660地区の地区大会で、当委員会の畑田耕一委員(大阪大学名誉教授)が分科会を主催され、大好評でした。

8月28日の職業奉仕委員長会議では講師として関口焯先生にお出で頂き、日本の教育現場に欠けていることについてお話し頂きました。先生は、フランス在住が長く、フランスでは国語教

社会奉仕部門

顧問 パスト・ガバナー 戸田孝(八尾)

社会奉仕委員会

委員長	樋上幸夫	(摂津)
副委員長	若宮邦弘	(大阪天王寺)
委員	浦川光雄	(箕面中央)
同	津田宏	(大阪梅田東)
同	古澤照男	(豊中南)
同	江上清夫	(豊中千里)
同	長谷川龍司	(豊中南)
同	玉城明	(吹田西)
同	小林君夫	(大阪大手前)

○ クラブ社会奉仕委員長会議

2004年8月24日(火) 於：大阪府赤十字血液センター

参加者：宮田ガバナー、社会奉仕部門顧問 戸田パスト・ガバナー、
地区RI100周年委員会 瀧川委員長、社会奉仕部門担当 高士地区幹事、
地区社会奉仕委員、各RC社会奉仕委員長 合計92名

大阪府赤十字血液センター 献血部長 川崎勲氏より、献血活動における輸血の意義・特殊性についてのご講話。また地区社会奉仕委員会の活動方針を各担当者より発表。

○ 豊かな環境づくり大阪府民会議

2004年12月21日(火)、2005年1月31日(月)、5月11日(水)、5月31日(火)

議題：豊かな環境づくり大阪行動計画、おおさか環境賞、その他

参加者：地区社会奉仕委員会 環境問題担当 長谷川 龍司

○ 環境保全研修会

2005年3月30日(水) 於：関西電力株式会社 南港発電所 (ELCITY)

参加者：宮田ガバナー、神崎ガバナー・エレクト、

社会奉仕部門顧問 戸田パスト・ガバナー、地区社会奉仕委員、
各RC社会奉仕委員長 合計48名

平成16年度「おおさか環境賞」事業者部門大賞を受賞された関西電力株式会社への企業訪問。環境室チーフマネージャー 加藤様より環境施策の説明、南港発電所 副所長 辰巳様より南港発電所の設備等についての説明の後、試験装置の見学。

○ 「春の全国交通安全運動」キャンペーン

2005年4月6日(水) 於：ツイン21 南プラザ

参加者：地区社会奉仕委員、各RC社会奉仕委員長 合計36名

毎春恒例のキャンペーンには太田房江大阪府知事(大阪府交通対策協議会会長)をはじめ、大阪府警本部の幹部、道路交通に関する行政・事業者・協賛団体そして当地区の各RC社会奉仕委員長が多数ご参加いただき、盛大に行われた。

○ クラブ例会時の「ノーマイカーデーコンテスト」の実施

参加クラブ：86クラブ

クラブ例会時における評価点(出席者総数に占める「ノーマイカー」達成の比率)を提出いただき、優秀クラブには次年度第1回クラブ社会奉仕委員長会議にてガバナーより表彰を予定している。

○ 「ユネスコ・世界寺子屋運動」の協力依頼

エリーニ・ユネスコ協会よりの協力依頼に基づき、「ユネスコ・世界寺子屋運動」の協力を各クラブへ呼びかけた。各クラブの協力により合計780,589円の寄付が集まったとの報告を受けた。

○ 「新潟・福井台風水害」義援金の協力依頼

ガバナー会からの義援金募集に基づき、義援金を協力依頼したところ、各クラブより合計4,280,075円のご協力を頂いた。

○ 「新潟県中越地震、台風23号」義援金の協力依頼

ガバナー会からの義援金募集に基づき、義援金を協力依頼したところ、各クラブより合計8,473,452円のご協力を頂いた。

青少年奉仕部門

顧問 パスト・ガバナー 井上 暎 夫 (千 里)

新世代合同委員長会議

議 長 井 上 暎 夫 (千 里)
北 山 孝 和 (大 阪 中 央)
磯 田 郁 子 (大 阪 東 淀)
松 林 一 寛 (大 阪 南)
土 井 晶 三 (高 槻 西)
佐 藤 俊 一 (大 阪 鶴 見)
加 藤 隆 (八 尾)
山 本 和 雄 (大 阪 な に わ)

新世代に関わる委員会は、4つの奉仕部門に以下の7委員会があります。当会議はこれらの7委員会の委員長により構成されています。

青少年活動委員会

ローターアクト委員会

インターアクト委員会

青少年交換委員会

財団奨学金・学友委員会

研究グループ交換委員会

米山奨学委員会

これらの委員会は、ロータリーが持っている新世代に関するプログラムを行なうに際し、その情報を他の委員会に提供して協力し、あるいは合同することにより、より効果のある活動が行えるよう努めてきました。

合同委員長会議が設置されてから6年目を迎えて協力体制は充分定着してきました。

今後の課題の一つとして、これらの委員会活動に関わってきた経験者である青少年を集め、新しいロータリークラブを結成する可能性について見当することになりました。

青少年活動委員会

委員長	北山孝和	(大阪中央)
副委員長	泉博朗	(大阪住吉)
委員	渡邊哲也	(交野)
同	片岡亥一郎	(大阪堂島)
同	津本清二	(大阪淀川)
同	野原嗣久	(豊中千里)
同	北野克己	(大阪船場)
同	櫛田雄一	(大阪阿倍野)
同	吉岡康雄	(大阪西北)
同	久保義誓	(茨木)
同	柳川義行	(吹田)
同	金本恒二郎	(大阪天王寺)
同	澤田順司	(高槻西)

本年度の活動は、青少年を対象に少年少女ニコニコキャンプ、春のRYLA、4地区合同全日本RYLAを実施、ロータリアンには、クラブ青少年正副委員長会議1回、地区青少年活動委員会を6回実施致しました。

青少年奉仕は、幅が広くRYLAと少年少女ニコニコキャンプを実施する委員会です。各クラブは色々な青少年奉仕を行っており、それぞれの活動報告をまとめて、今後の青少年奉仕に生かして頂くべく、各クラブに提供いたしました。

残念なことは、秋のRYLAが、台風22号のためにやむなく中止したことです。秋のRYLAは、初級RYLA、上級RYLAを並行しての実施でありましたが、実施できたのは、上級RYLAプレキャンプのみでした。上級RYLAを実施できる環境は山のRYLAが望ましく、海での上級RYLAは危険が伴うので、春のRYLAでの実施は出来ませんでした。今年1年上級RYLAが実施できなかったため、プレキャンプを受講した青少年には、次年度秋の上級RYLAで再度受講していただきます。

本年度も1昨年より引き続き、ホストクラブの支援をIM単位で行っていただき、ホストクラブも資金の軽減が出来、プログラムに力を注いでいただき素晴らしい活動が出来たことは、ホストクラブIM並びに地区内ロータリアンの方々全てのご理解があればこそで御座います。心より感謝申し上げる次第で御座います。

本年度特筆すべきことは、日本で初めてRYLAを実施した大阪で、国際大会記念ロータリー100周年を記念して、4地区(D2640、D2660、D2650、D2680)合同でホストを行い全日本

RYLAが開催出来たことです。青少年にはRYLAプログラム、ロータリアンにはワークショップでのRYLAの今後を話し合い、素晴らしい事業が出来たことに感謝申し上げます。参加者も北は青森、南は九州、又震災地の新潟と日本各地のロータリアン、青少年との2泊3日は、参加した全ての方々が、貴重な経験を出来たことに感謝申し上げます。

活動記録

(1) 少年少女ニコニコキャンプ

ホストクラブ：吹田ロータリークラブ

日 時：2004年8月8日（日）～10日（火）

場 所：茨木市立青少年野外活動センター

開催テーマ：「自然を感じ、共感し、新しい友達と仲間になろう！」

参加児童：85名（小学生4、5、6年生）

参加上級RYLA修了生及びローターアクター：22名

登録ロータリアン：450名

(2) 秋のRYLA 上級RYLAプレキャンプ

ホストクラブ：大阪天王寺ロータリークラブ

日 時：2004年9月25日（土）

場 所：新大阪「エコプラザ」

参加青少年：9名

参加ロータリアン：35名

開催テーマ：

人と自然の関係から自然環境を見直す

サブテーマ：

「自然環境の中で人との関係について」

(3) 全日本RYLA

ホスト4地区：(D2640、D2660、D2650、D2680) 合同

日 時：2005年3月11日(金)～13日(日)

RYLA開催場所：大阪市立青少年野外活動センター ロッジ舞州

RYLAテーマ：「21世紀 今 青少年に望むもの」

－みんなはひとりのために ひとりはみんなのために－

参加青少年：70名

参加ロータリアン：120名

ワークショップ開催場所：神戸ポートピアホテル

ワークショップテーマ：「21世紀における RYLAの意味するもの」

参加ロータリアン：85名

(4) 春のRYLA

ホストクラブ：高槻西ロータリークラブ

日 時：2005年5月3日(火)～5日(木)

場 所：大阪府立青少年海洋センター(淡輪)

テ ー マ：「信頼と友情を深めよー Try! Best of Yours.」

参加青少年：103名

登録ロータリアン：499名

(5) クラブ青少年正副委員長会議

日 時：2005年5月3日(火)

場 所：大阪府立青少年海洋センター 海風館(淡輪)

参加クラブ：50クラブ

参加人員：71名

開催目的：クラブ活動報告、RYLA見学

(6) 青少年活動委員会 会議 6 回

第 1 回： 8月30日（月）ガバナー事務所に於いて

第 2 回： 9月21日（火）ガバナー事務所に於いて

第 3 回： 11月17日（木）ホテルグランヴィア大阪

第 4 回： 2月15日（火）ガバナー事務所に於いて

第 5 回： 4月11日（月）ガバナー事務所に於いて

第 6 回： 6月27日（月）ホテルグランヴィア大阪

(7) 全日本RYLA会議 4地区合同会議16回

7月10日（土）大阪商工会館

9月18日（土）大阪中央RC

10月17日（日）ガバナー事務所

10月31日（日）ガバナー事務所

11月 7日（日）ガバナー事務所

11月14日（日）ロッジ舞州

11月28日（日）ガバナー事務所

2月 1日（火）ホテルグランヴィア大阪

2月 6日（日）難波神社

2月24日（木）全国ガバナー会J-RYLA説明

2月26日（土）ロッジ舞州

5月22日（日）難波神社

5月27日（金）ホテルグランヴィア大阪

6月中に3回予定大阪中央RCで

(8) ローターアクトクラブ正副委員長会議 2 回出席

7月24日（土）大阪YMCA

2月12日（土）大阪YMCA

以上活動報告を終わります。ご協力いただきました関係者の皆様本当に有り難う御座いました。

感謝！

ローターアクト委員会

委員長 磯田 郁子 (大阪東淀)

副委員長 高橋 敏朗 (守口)

委員 渡部 富士雄 (大阪住吉)

同 西口 宗宏 (大阪中央)

同 石田 肇 (東大阪東)

同 高良 尚志 (大阪天満橋)

同 湯木 尚治 (大阪)

同 福井 宏有 (大阪淀川)

同 荒川 雅行 (大阪御堂筋)

同 竹村 ルミ子 (茨木東)

同 疋田 陽造 (吹田)

- 1 区内ロータリークラブのメンバーにローターアクトの存在はもとより、その活動内容や意義を知ってもらうため地区委員長会議や地区協議会、クラブ卓話などでPRを行い、提唱クラブだけでなく近隣クラブ、同じIM内クラブ、親クラブ、子クラブなどが連携をとり会員の対象となる青少年を推薦、紹介していただけるよう呼びかけた。
- 2 ローターアクト役員会と協力し、地区行事の準備運営を行った。(詳細は別表)
- 3 青少年委員会と連携を取りローターアクトのメンバーがにこにこキャンプ、RYLAなどに参加するよう働きかけた。
- 4 12名の地区委員で委員会を構成し、中・南・北ゾーンに分かれて担当を持ち、それぞれが月2回の地区役員会と毎月開催される各ゾーン連絡協議会に出席しローターアクトの相談相手、アドバイザーとして関わった。
- 5 提唱クラブの正副委員長会議を7月24日と2月12日に開催し、各クラブの抱える問題の解決や他クラブとの情報の交換の場とした。
- 6 ローターアクトの今年度の地区ターゲットを「ひまわり」～元気な花を咲かせよう～とし、
 - ☆ローターアクト活動の基本を会員全員に浸透させクラブの強化を図る
 - ☆提唱ロータリーとのより良い関係を築き、ローターアクトを知ってもらう。
 - ☆ローターアクトは体が資本！健康に気をつけて元気いっぱい活動しよう！
 を目標にローターアクトのメンバー達は1年間活動を行い、区内メンバーがそれぞれ充実した活動を行った。

R.I.

 ROTARACT DISTRICT 2660

国際ロータリー第2660地区ローターアクト
 2004～2005年度 行事予定案

年	月	日	曜日	行事名	ホスト	
04	7	18	日	第1回地区献血	枚方RAC	
		18	日	第1回地区連絡協議会	大阪空港RAC	
		24	土	第1回RAC正副委員長会議	地区RA委員会	
	8	8～10	日～火	少年少女ニコニコキャンプ	吹田RC	
	9	12	日	全国統一アクトの日	大阪御堂筋RAC	
	10	9～11	土～月	秋のライラ	大阪天王寺RC	
		31	日	2640・2660地区交流会	第2640地区	
	11	7or14	日	インターアクト年次大会		
	12	3～4	金～土	RC地区年次大会	大阪北RC	
		11	土	第1回海外研修オリエンテーション	RA地区役員	
05	1	15	土	第2回海外研修オリエンテーション	RA地区役員	
		2	12	土	第2回正副委員長会議	地区RA委員会
		19	土	第3回海外研修オリエンテーション	RA地区役員	
		27	日	第2回地区献血	大阪南RAC	
		27	日	第2回地区連絡協議会	大阪RAC	
	3	5～6	土～日	第17回全国ローターアクト研修会	第2710地区	
		13	日	世界RAC DAY	大阪西RAC	
		19～22	土～火	海外研修	RA地区役員	
	4	17	日	新旧役員研修会	大阪天満橋RAC	
	5	3～5	火～木	春のライラ	高槻西RC	
		8	日	地区年次大会	大阪中央RAC	
	6	12	日	リーダーシップフォーラム・新人研修会	東大阪RAC	

インターアクト委員会

委員長	松林寛	(大阪南)
副委員長	小川芳男	(大東)
委員	和田健	(大阪南)
同	畑中裕昭	(八尾)
同	西尾良一	(大阪住吉)
同	高山修治	(大阪南西)
同	津江明宏	(大阪)

当地区では、7RCの提唱により、7インターアクトクラブが、各学校を基盤として国際理解を深めるための活動や地域での奉仕活動に取り組んでいます。

また、地区行事は、担当いただくロータリークラブ、インターアクトクラブの理解と協力のもとに下記の活動（行事）を実施しました。

活動状況

1 年次大会 ターゲット「Every little bit helps」

テーマ「世界の子どもたちに古着を贈ろう！」

提 唱：大東ロータリークラブ

担 当：大阪桐蔭中学高等学校インターアクトクラブ

期 日：2004年11月23日（祝・勤労感謝の日）

会 場：大阪桐蔭中学高等学校

参 加：131人

2 新入生歓迎会

提 唱：大東ロータリークラブ

担 当：大阪桐蔭中学高等学校インターアクトクラブ

期 日：2005年6月5日（日）

会 場：大阪府立羽衣青少年センター

3 海外研修

提 唱：大阪南ロータリークラブ

担 当：四天王寺学園中学・高等学校インターアクトクラブ

期 間：2004年8月2日（月）～8月6日（金）

研修先：台北（RI-D3520インターアクトとの交流）及び高雄

参 加：44人

4 地区インターアクト活動報告書<SCRUM> 30の発行

提 唱：大阪南ロータリークラブ

担 当：清風学園インターアクトクラブ

部 数：200部

5 会 議

地区委員会 3回開催

提唱RC正副委員長会議 2回開催

顧問会議 2回開催



国際奉仕部門

顧問 パスト・ガバナー 柏木尚(豊中)

国際奉仕委員会

委員長	八木 頼 夫 (大阪)	委員	西村 貞一 (大阪東)
副委員長	毛利 哲三 (大阪西南)	同	中西 憲治 (大阪北)
委員	笹井 敏之 (大阪フレンド)	同	横山 順治郎 (大阪南)
同	吉川 邦英 (大阪)	同	中西 和也 (千里メイプル)

1 CENTENNIALを迎えたROTARY年度

"CELEBRATE ROTARY"の標語の元ON-TO- CHICAGO国際大会への多数の参加を呼びかけてきた結果3月末時点で以下の参加予定者を得ている。

会員：189名

家族： 85名 合計参加予定 275名

2 青少年交換・世界社会奉仕の両委員会と連絡を密にとることに勤めた。

3 "ROTARYを祝おう"の標語に副って各クラブにTWIN CLUBを持つことを推奨した。

世界社会奉仕委員会

委員長	植村 宏一郎 (大阪平野)	委員	園 侯 一 (大阪梅田)
副委員長	宮里 唯子 (茨木西)	同	芦邊 康徳 (大阪心斎橋)
委員	長澤 利治 (茨木)	同	豊谷 久仁子 (吹田)
同	瀧田 浩彦 (東大阪中央)	同	家村 武志 (吹田西)
同	有江 健 (東大阪中央)	同	青山 快玄 (大阪北梅田)
同	三村 恵造 (大阪西北)	同	神崎 茂 (大阪西)

- 1 地区クラブ世界社会奉仕委員長会議を下記の通り行なった。
第1回 委員長会議 大阪YMCA 2004年7月17日 (土)
第2回 委員長会議 大阪薬業年金会館 2005年3月19日 (土)
- 2 地区W.C.S.委員会をガバナー事務所にて11回開催
人道的補助金委員会との合同委員会を2回開催した
- 3 IM8組に担当委員が配置し、各クラブに対し情報の提供や奉仕活動のアドバイスをを行った
- 4 地区の世界社会奉仕活動
調査 モンゴル国 ウランバートル市
2004年11月6日 (土) ~12日 (金) 7日間
地区委員5名 守口イブニングRC1名 計6名参加
マンホールチルドレンの実態、水資源等8ヶ所視察
実施 (1) ロータスセンター (孤児院) に井戸プロジェクト
(2) ゲル集落 (貧困層 約3000名) に貯水タンクの設置プロジェクト
(3) 農業開発 (農民に自立支援) プロジェクト
- 5 2660地区86クラブのW.C.S.活動計画と活動報告書の一覧表を作成し奉仕活動の参考資料として全委員長に配布した
- 6 実績は86クラブ中74クラブが独自のプロジェクトを行なわれた。12クラブが地区活動に依託され、この1年間の奉仕活動総額は約3900万円であった。
又、人道的補助金委員会の御協力により、前年度同様の成果を上げました。

青少年交換委員会

委員長	土井晶三	(高槻西)
副委員長	植田豊實	(箕面中央)
委員	近藤真道	(高槻西)
同	岡田俊作	(大阪本町)
同	徳岡昭七郎	(大阪天満橋)
同	武市智寿	(大阪鶴見)
同	西川知行	(高槻西)
同	山田昭夫	(大阪東)
同	泉寛治	(八尾中央)
同	三木優	(大阪イブニング)
同	西野博子	(大阪イブニング)

本年度は、長期派遣・来日共12名の交換と短期交換2名を行いました。今年度より、青少年交換ファンドによる特別会計を取り止め地区活動資金への組入れを実施いたしました。資金面において従来の余裕がなくなり、非常に厳しい状態になりましたが、初年度と致しましては何とか予算内にての活動が出来たものと考えます。そして、単年度収支が本来の状態になり会計上より透明度を増したものと思います。

中心となっていたアメリカを離れここ数年来特に、東欧諸国との交換を行ってきておりますが、来日学生の資質には満足いく成果が挙がってきております。今後、他の東欧諸国との交換をも視野にいった取組みを目標として行くことの必要性を感じます。

今回、86クラブに対するアンケートを行い、その結果から過去、このプログラムに参加されたクラブ数が半数に満たずまだまだこのプログラムに対する認識が低いことに驚かされました。我々委員会活動の一環として、各クラブへのより一層の情報提供の必要性を痛感いたしました。

派遣学生の応募に関しましては、各クラブのメンバー減少と高年齢化によりロータリアンの子弟の応募が少なくなって来ております。他地区の現状も同様であり、今後の取組みとして地区内学校との連携を主体に行っている地区も多数になってきており、当地区もこの方向性をも検討しなければならない時にきているように思われます。帰国学生の所属するROTEXの活動も昨年の大阪国際大会をピークに停滞しているように思われます。帰国学生が一人でも多く参加してもらえるROTEX造りを考え、派遣・来日学生のより良いアドバイザーとしての活躍を期待したいと思っております。

ロータリー財団部門

ロータリー財団部門委員会

委員長	横山守雄	(大阪中央)
委員	山本公平	(大阪北)
同	佐藤俊一	(大阪鶴見)
同	中西藤和	(大阪梅田)
同	野村浩司	(大阪そねざき)
同	植村宏一郎	(大阪平野)
同	樋上幸夫	(摂津)

- 1 当委員会はロータリー財団部門4委員会のそれぞれの活動プログラムを各クラブでどのように取り入れて頂き、そしてその財団プログラムを通じて、財団寄付に対する理解と協力をどの様に深めて頂けるかという、財団両輪のテーマをベースに本年度の委員会活動を進めました。
- 2 財団の活動プログラムの中で、本年度各クラブにおいて積極的に採用されましたのは各種の補助金プログラムでしたが、特に「地区補助金」は地区内のほぼ半数のクラブがこれを利用され、WSC活動に対する各種補助金と相俟ってクラブ活動活性化に役立つ効果的なツールとして定着・活用されるようになりました。
- 3 国際親善奨学生プログラムはDDFが年々減少している中で、その状況に応じて派遣者数を減らさざるを得ませんが、この伝統的な財団の活動プログラムを少数の奨学生で如何に高めて行くかという課題に面しております。
- 4 本年度、財団本部は寄付増進テーマとして、「全てのロータリアンが毎年少なくとも100ドル以上の寄付を」、そして「一般年次寄付は各クラブが独自に目標金額設定を」という二つの方針を発表しましたが、この二つのテーマに対する各クラブの理解度に若干の温度差がありました。従来の寄付実績額を大幅に下回る目標金額を提示されたクラブが幾つかあり、両テーマについては今後とも各クラブへの継続的な情報提供が必要と思われます。
- 5 主な開催及び参加会議
 - ・地区財団セミナー
 - ・クラブ財団委員長会議

- ・ 人道的補助金委員会審査会
- ・ 国際親善奨学金委員会
- ・ 財団地域セミナー
- ・ DDFシェア配分会議
- ・ 財団月間卓話

6 次年度は各クラブが財団のそれぞれの活動プログラムをもっと活用出来ないか、現在の問題点を更に掘り下げ、各クラブ・各会員の視点から地区委員会活動を進めて行く必要があると感じております。

財団情報・増進委員会

委員長	山本公平	(大阪北)
委員	井川孝三	(八尾)
同	松原貞一	(大阪柏原)
同	西森喜一	(大阪難波)
同	岸本健之亮	(大阪北梅田)
同	大東敏男	(大阪城南)

当委員会は、財団の各委員会との連携を密にしながら各クラブの財団委員長を通じて財団の情報を提供し、会員の皆様に財団活動の理解と財団への寄付の増進を推進してきました。

本年度も財団の変更点が多くあり、とりわけ2年目を迎えた地区補助金を当委員会としても11月の財団月間等でしっかりと情報提供できたと考えています。また今年度より年次寄付の目標額の設定が従来の地区主導からクラブ主体へと変更になり（Bottom-up方式へ）年毎に会員数の減少とともに減ってきています年次寄付額に強い関心を今年度は各クラブさんに持っていただいたと考え、今後は「しっかりと財団のプログラムを活用していただきそして財団にも寄付をしていただく」というスタンスを地区会員の皆さんにもご理解いただくよう継続して活動します。

当地区会員の皆様には財団活動への御理解と御協力に大変感謝致しています。

- 1 情報・増進委員会 年3回
- 2 ロータリー財団セミナー 04年8月28日（土）

- ・ 各クラブより会長、財団委員長の出席
- ・ 各部門、地区補助金プログラムの活用、寄付の現況と増進についての説明

3 11月 ロータリー財団月間

約20クラブよりの要請で学友所属のPSC会員が奨学体験を主なる話題として卓話をする。

また財団各委員長（4部門）も地区補助金を主として卓話し、情報提供・増進活動に努めた。

4 クラブロータリー財団委員長会議 04年10月30日（土）

- ・本年度 財団活動の変更点の説明、奨学生の募集報告、寄付の増進
- ・ 地区補助金の活用と寄付の増進をテーマとしてのテーブルミーティングを行う
(IM組毎に)

5 IMの活用について

財団報告の機会がなくポイントのみの報告書提出（2組）となりました。

6 地区募金目標（今年度）

年次寄付の地区目標	58万ドル	（前年実績 55万ドル）
年次寄付の1人当り	131ドル	
ベネファクター（各クラブ）	1名以上	
大口寄付	1名	

7 ポリオ撲滅募金キャンペーン（約束を守ろう、ポリオをなくそう）

2005年の終結宣言のもとに02年より活動してきましたこの募金活動は世界で8,000万ドルの最終目標は達成できてますが、日本全体では少々目標達成ができていません。また当地区は当初低い目標でしたが既に達成しており、今年度はDDFの資金にて更にご協力します。

また、ポリオ撲滅は99パーセント達成しましたが地球上のすべての地域で撲滅されたわけはありません。そしてこのキャンペーンは今後2年間継続され、ポリオ・プラスプログラムも財団の3つのプログラムのひとつとして継続されます。

財団奨学金・学友委員会

委員長 佐藤 俊一（大阪 鶴見）	委員 島井 宏子（大阪 北梅田）
副委員長 溝畑 正信（東大阪 東）	同 栢本 淑子（吹田 江坂）
委員 梅崎 道夫（大阪 城南）	同 今市 憲作（大阪）
同 榊原 春枝（大阪 柏原）	同 丹羽 一郎（大阪 東）

ロータリー創立100周年をむかえ、財団活動は年々発展してきているようだが、一方、残念ながら、財団への寄付金の減少によるDDFの配分額減少により、派遣学生数は年々低下の一途をたどっている。

2006～07年度の合格者は8名となり、ついに10名をきった。(過去25名以上の合格者を出した年度もあった。)多数の優秀な国際親善奨学生候補を各クラブより推薦いただきながら、非常に厳しい状況になっている。

これは当地区ロータリー財団国際奨学金制度の歴史にとって、大きな後退であるといわざるをえない。

その他、財団学友のフォローについても色々な課題があることを付け加えておく。

以下に本年度の活動状況をしるす。

1 国際親善奨学生

2005～06年度奨学生候補12名にカウンセラー、地区役員を交え、3回のオリエンテーションを実施し、現在彼らは留学準備中である。

今年度のオリエンテーションは特に日本の古い文化や宗教などに理解を深めてもらうようプログラムを計画した。

2004年9月4日 第1回オリエンテーション

講師 近藤真道 神峯山寺住職(高槻西RC)

「日本人と宗教」

国際親善奨学生歓迎会、帰国報告会(PSC主催)

2005年3月5日 第2回オリエンテーション

四天王寺境内見学と講和

四天王寺内司室課長 兼子鐵秀氏

「大阪の話」畑田 豊氏(大阪城南RC)

終了後PSC主催による留学情報を目的の懇親会、二次会

2005年6月25日 第3回オリエンテーション

奨学生候補の全員参加による日本の歴史と文化に関するプレゼンテーション。

帰国奨学生の報告会、歓送会

オリエンテーションの詳細については、ガバナー月信にそのつど掲載されている。

2 委員会開催6回、地区財団セミナー、クラブ財団委員長会議

3 世界平和奨学生

2005～07年度の世界平和奨学生として当地区で初めて寺西悦子さん（茨木東RC）が合格した。全世界の地区が一名のみ推薦できるなかから選ばれる世界競争による合格に難しい制度である。これは非常な快挙であり、種々の理由から当分は輩出しない状況である。というのは出願時期が国際親善奨学生募集と同時にになり、事実上、併願することができない。そのせいか、今年度は次年度の平和奨学生の申請が全くなかった。さらに、予算不足のため70名の定員に満たされず、各地区よりの資金協力を、あおがなければならないというのは、このプログラムの立派なビジョンに反して財政的基盤に問題があるように思う。

4 文化研修生

本年度は3ヶ月文化研修生が3名であった。

Stewart, BobbieElizabeth (アメリカD6940)	ホストクラブ	大阪鶴見RC
Jeng, feng-Yi (台湾D3500)	ホストクラブ	大阪中央RC
Lai, Li-Ting (台湾D3520)	ホストクラブ	大阪そねざきRC

5 PSC (財団学友)

- ・ 奨学生の歓送会の開催、忘年会などによる親睦と交流会開催
- ・ 電子メールのメーリングリストによる奨学生候補に対する留学の支援
- ・ 地区財団セミナーでは財団奨学生の福島千夏さんが専門のオペラの歌声を披露。
- ・ 財団月間ではクラブ例会での卓話に多数のPSCメンバーを派遣。
- ・ 「PSCだより」の発行
- ・ GSEアルムニ会との交流 GSEスウェーデンチームとの交流
- ・ PSC総会、PSC例会の開催、一泊懇親旅行（伊勢方面）
- ・ PSC名簿づくりの準備

PSCの活動の詳細は「PSCだより」に述べられているが、予算の関係上、全会員に配布出来な
いでいる。PSCの運営にはかぎられたメンバーが献身的に携わっており、今後は量的な活性化
がのぞまれる。

また、留学後のスポンサークラブとのつながりが希薄になりがちで、名簿作成のために住所な
どを調査したが、1957年以来478名のPSCが在籍しているが、そのうち連絡先が分かるのは328
名で、約7割の判明率である。推薦クラブに調査依頼したが、60名が不明、90名が無回答であっ
た。これは貴重な奨学生の将来について過去充分フォローできていない状況にあるといえる。
地区委員会、スポンサークラブ、帰国奨学生との緊密な連携がこれからも必要とされる。

研究グループ交換委員会

委員長	加藤 隆	(八尾)
副委員長	松岡 茂雄	(大阪鶴見)
委員	野村 正勝	(箕面中央)
同	吉田 弘	(枚方)
同	岩城 邦廣	(摂津)
同	後藤 二郎	(大阪北)
同	田中 潤治	(大阪西北)
同	武田 太郎	(大阪南)
同	松井 隆雄	(大阪天王寺)
同	神崎 茂	(大阪西)

1 国際ロータリー第2390地区スウェーデンGSEチーム受入

チーム構成

団長 マッツ・プルセウス

団員 ソフィー・クバルフォルツ

リサ・キルセボム

ジェンス・インゲマンソン

インゲマル・ラルソン

受入日程

2005年3月11日関空着

2005年4月15日関空発 滞在5週間

受入日程

第1週 ホスト IM第3組 (委員長 枚方RC、副 門真RC)

奈良デー、個人職業研修、例会訪問 (プレゼン)、一般研修

第2週 ホスト IM第4組 (委員長 東大阪中央RC、副 八尾中央RC)

広島デー、個人職業研修、例会訪問 (プレゼン)、一般研修

第3週 ホスト IM第1・2組 (委員長 茨木RC、副 豊中RC)

京都デー、個人職業研修、例会訪問 (プレゼン)、一般研修

第4週 ホスト IM第5・6組 (委員長 大阪鶴見RC、副 大阪大淀RC)

大阪市長表敬訪問、個人職業研修、例会訪問 (プレゼン)、一般研修

第5週 ホスト IM第7・8組（委員長 大阪城南RC、副 大阪本町RC）

送別会、個人職業研修、例会訪問（プレゼン）、一般研修

各週担当の実行委員長・副実行委員長クラブと地区GSE委員会で受入実行委員会を構成し、2004年11月末より4回の会合で、週ごとの受入ホスト家庭、職業研修、一般研修のプログラムを策定し、研修先の重複を確認しながら、スウェーデンチームから高評価の素晴らしい最終スケジュールを確定。更に実行委員長、副実行委員長クラブには毎日のプログラム終了までサポートを頂き、無事5週間のスケジュールをこなす事が出来ました。ホスト家庭を受けて頂いたロータリアン、毎日のプログラムにご協力頂いた地区内ホストクラブの支えで、素晴らしい受入を完了できました。

スウェーデン2390地区のゲルト・ベルグルンド ガバナーよりも丁寧な感謝の手紙を頂きました。

2 地区クラブへの情報提供

地区クラブGSE委員長会議（2004年7月17日）

GSEアルムニ 余田佳子による体験報告（好評で卓話依頼あり）

財団セミナー

地区財団委員長会議

財団月間等卓話（枚方RC、大阪東RC、大阪天満橋RC、大阪大手前RC、大東RC、東大阪RC）

3 GSEアルムニ会活動（PSC）

- ・ 地区大会でのGSEパネル展示の協力及び本大会出席
- ・ PSCとの交流会（第1回打合せ、スウェーデンチーム歓迎会及び送別会への招待）
- ・ スウェーデンGSEチーム歓迎会実施
- ・ スウェーデンGSEチームアテンド及び研修への協力
- ・ GSEアルムニニュース発刊
- ・ ロータリークラブでの卓話

余田 佳子（地区クラブGSE委員長会議、大阪東RC、交野RC、東大阪中央RC）

岡田 清重（東大阪RC）

中島 秀一（大東RC）

川本 典美（大阪西北RC）

財団法人道的補助金委員会

委員長	中西藤和	(大阪梅田)
委員	白方誠彌	(大阪淀川)
同	津田宏	(大阪梅田東)
同	横井憲二	(八尾)
同	岡本健治	(大阪東南)
同	福家宏	(八尾中央)

2004～05年度 人道的分野へのDDF配分額は、\$ 125,000である。

このうち地区補助金に\$ 60,000、マッチング・グラントに\$ 65,000が配分された。

プロジェクトへDDFの配分状況 (5月20日現在)

(1) 地区補助金 (District Simplified Grant)

1. 大阪柏原RC	: 市民病院の玄関花壇に植栽	\$ 1,500
2. 大阪城RC	: 日本語スピーチコンテスト	\$ 1,220
3. 茨木RC	: 養護学校にウォシュレットの寄贈	\$ 1,500
4. 東大阪RC	: ダウン症の訓練養護施設に教材の寄贈	\$ 1,500
5. 大阪御堂筋RC	: 北淡町震災記念公園に補助車椅子の寄贈	\$ 660
6. 大阪イブニングRC	: 知的障害児施設に遊具の寄贈	\$ 1,500
7. 枚方くずはRC	: 社会福祉施設にトランポリンの寄贈	\$ 1,500
8. 茨木東RC	: カンボジアの学校に井戸、トイレの寄贈	\$ 1,500
9. 大阪平野RC	: ベトナムの職業訓練施設にミシンの寄贈	\$ 1,500
10. 東大阪東RC	: 児童養護施設の児童とのふれあいツアー	\$ 1,500
11. 池田くれはRC	: 独居老人とのふれあい広場	\$ 1,500
12. 大阪大淀RC	: ロータリー100周年記念講演会	\$ 1,500
13. 四条畷RC	: 清滝トンネルに交通安全看板の設置	\$ 1,500
14. 門真RC	: 市リサイクルプラザ (エコパーク) に図書の寄贈	\$ 460
15. 八尾中央RC	: 八尾市立病院のバス停にベンチの寄贈	\$ 1,500
16. 大阪梅田東RC	: 重度障害者施設に模擬体験装具の寄贈	\$ 1,440
17. 茨木西RC	: 茨木養護学校に体重測定機材の寄贈	\$ 1,500
18. 大阪梅田RC	: 大阪教育大学付属の校庭に「希望のりんご」の植樹	\$ 1,500
19. 大阪そねざきRC	: 児童養護施設の児童にクリスマスプレゼント	\$ 965
20. 高槻東RC	: 芥川の堤防の植樹と清掃	\$ 1,500
21. 大阪北RC	: 府立図書館の視覚障害児文庫に点字シール絵本を寄贈	\$ 1,500

22. 大阪東南RC	: 社会福祉法人に視覚障害者用パソコンを寄贈	\$ 1,500
23. 大東中央RC	: 青少年野外活動センターに「実のなる木」の寄贈	\$ 1,500
24. 守口RC	: 3救運動（救助、救命、救護）の技能講習会の実施	\$ 1,500
25. 大阪南西RC	: 障害者支援シンポジウムと少女少女コンサート	\$ 1,500
26. 守口イブニングRC	: 赤道ギニアの小学校に机、椅子の寄贈	\$ 1,265
27. 大阪中之島RC	: ベトナム・ダナンの病院に医療機材の寄贈	\$ 1,500
28. 大阪中央RC	: 琵琶湖の環境保全講演会と清掃活動	\$ 1,210
29. 交野RC	: 防災活動のための四輪駆動車の寄贈	\$ 1,500
30. 大阪城南RC	: 四天王寺の「極楽浄土の庭」で蛍の自然繁殖	\$ 1,470
31. 吹田西RC他	: JR吹田駅近隣の片山ポケットパークに植樹	\$ 1,500
32. 池田RC	: 日本伝統文化の「折り紙飛行機競技大会」の開催	\$ 1,500
33. 大阪淀川RC	: 社会福祉法人「博愛社」に子供文庫の寄贈	\$ 980
34. 大阪船場RC	: 地域の小・中学校に作文の募集と表彰	\$ 1,500
35. 豊中南RC	: 20年前のタイムカプセルの開封と新規の埋設	\$ 1,500
36. 大阪住吉RC	: 大阪再生の森を創造する植樹	\$ 1,500
37. 大阪西北RC	: 老人クラブ連合会の老人対象の講談会	\$ 1,470
38. 大阪阿倍野RC	: 知的障害者の交通機関利用の徽章の作成	\$ 1,500
39. 高槻RC	: 手話による会話ができる社会環境の整備	\$ 1,500
40. 大東市立大東公園の中央入口に植樹		\$ 980
計		\$ 54,120

(2) マッチング・グラント (Matching Grants) へのDDF

1. 大阪東淀川	: バングラディッシュにX線診断装置の寄贈	\$ 10,660
2. 豊中RC	: タイ・バンコクのリハビリセンターへ機器の寄贈	\$ 5,000
3. 豊中RC	: タイ・カンチャナブリ野菜栽培の農機具の寄贈	\$ 5,000
4. 大阪西南RC	: 釜山障害児施設に屋外遊具の寄贈	\$ 1,555
5. 大阪なにわRC	: タイ・カンチャナブリ小児病院に医療器具の寄贈	\$ 5,000
6. 茨木西RC	: タイ・バンコクのラーシン病院に透析器の寄贈	\$ 2,950
7. 大阪淀川	: バングラディッシュ・ラジシャヒ癌センターに医療機材の寄贈	\$ 5,000
8. 大阪梅田	: 釜山市少年院にスポーツ用具の寄贈	\$ 5,000
9. 茨木RC	: インドネシア・ジョクジャカルタの子供に口唇手術費	\$ 5,000
10. 大東中央RC	: 中華民国・台中の台風災害地へ学校給食	\$ 5,000
11. 大阪南西RC	: モンゴル・ウランバートルの貯水タンクの寄贈	\$ 5,000
計		\$ 55,165

米山奨学部門

顧問 パスト・ガバナー 熊澤忠躬(守口)

米山奨学委員会

委員長	山本和雄	(大阪なにわ)	委員	永江 溥	(大阪天満橋)
副委員長	北川 哲	(大阪南)	同	岡田義昭	(大阪淀川)
委員	平田啓治郎	(大阪西南)	同	松原清一	(大東)
同	長谷川暉郎	(高槻東)	同	川面智義	(高槻)

活動方針

- ① 奨学寄付金の確保充実を計る。
- ② 奨学生の選考。
- ③ 奨学生に対する充実した指導や助言を行い、奨学生と世話クラブ及びカウンセラー、そして留学生該当大学との円滑なコミュニケーションをはかれるよう協力調整する。
- ④ 学友(関西)との連絡及び連携の充実にあたる。

活動方針に基づく結果について

- 1 寄付金額については一人当たり2万円(普通寄付 5,000円 特別寄付 15,000円)を協力要請してきましたが、結果的には
第2660地区寄付金 合計 81,260,775円
会員一人あたり平均 18,995円
(2004年7月～2005年6月末現在)
でありましたが、全国的にはかなり、上位にランクされるご協力を賜りました。

2 奨学生の選考

主として、従来の学業成績優秀な学生・経済的に困窮している学生から「米山奨学事業基礎調査の結果」を重視した選考をした。

つまり

- 将来母国と日本の関係を強め国際交流や親善を推進する人材。
- 母国に限らず国際社会で活躍する人材。
- 将来、職業奉仕するロータリー精神を持つ人材。
- 優秀な留学生。

これらに重点を置きながら、より多くの大学、より多くの国からを念頭に選考した。

特に、公平な選考を期する為に「選考の基本方針」「面接時に於ける質問内容」について研修会を重ねながら今年度は更に偏差値の導入を試みた。

3 奨学生・世話クラブ・カウンセラー・該当大学とのコミュニケーションを計る。

今年度はカウンセラー研修会を2回実施した。

第1回目 カウンセラーとしての役目、内容について

第2回目 実際にカウンセラーとして留学生と接しての問題点・それらにどう対応
対処したか等の実務的研修

該当大学19校を訪問

- ① 各大学の留学生受入の実態と留学生に対する姿勢
- ② 「ロータリアンの望む奨学生とは」についての理解を得る努力
- ③ ローターリー・大学・留学生の今後のコミュニケーションの取り方について
- ④ 米山月間には「米山事業の現況と課題」をテーマに地区内24クラブを訪問し、その理解に努めた。

4 学友（関西）との連携について

3ヵ年計画で奨学生OBのネットワーク作り、追跡調査を連携して推進した。

最終年度の次年度で完成する予定で、つまり、これが友好利用の基礎作りが出来た。

参考資料

(1) 2004学年度奨学生数

Y奨学生	43名
CY奨学生	5名
計	48名

(2) 奨学生選考日程

2004年7月	指定校選定・大学別被推薦者数決定	
12月 8日	書類審査	於：ガバナー事務所
12月16日	選考委員会	於：ガバナー事務所
2005年1月16日	面接試験	於：大阪YMCA
1月24日	最終選考委員会	於：ガバナー事務所
3月 9日	世話クラブ決定	於：ガバナー事務所

(3) 地区行事・委員会等

2004年7月 7日	地区米山奨学委員会	於：ガバナー事務所
7月22日	米山奨学生カウンセラー研修会	於：薬業年金会館
10月 1日～31日	米山月間	
10月17日	米山奨学生レクリエーション	於：宝塚大劇場
11月19日	第2回米山奨学生カウンセラー研修会	於：大阪YMCA
2005年2月27日	米山奨学生終了者歓送会	於：大阪厚生年金会館
4月20日	米山奨学委員会説明会	於：ガバナー事務所
5月18日	2005学年度米山奨学生オリエンテーション及び懇親会	於：ヴィアーレ大阪
6月14日	米山奨学委員会説明会	於：ガバナー事務所

地 区 大 会

委員長 鴻池 一季 (大阪北)
幹事 山本 潤 (大阪北)
プログラム委員長 山浦 莊平 (大阪北)

2004～2005年度地区大会は12月3日(金)、4日(土)に大阪国際会議場並びにリーガロイヤルホテルにて開催いたしました。

国際ロータリー創立100周年の記念すべき年度に当たり、RI会長代理 渡辺好政ご夫妻のご臨席を賜り、各地区からガバナー、パスト・ガバナーの方々並びにご来賓と2,965名の会員家族の方々にご参加頂き、大盛況裡に終了する事が出来ました。

本大会テーマは、RI会長方針を踏まえ「ロータリーを祝おう100年の歩み継承と発展と」とし、ロータリーの歴史を振り返り次の百年に向かってどう取り組むべきかを考えるものとし、出席者に質疑やディスカッションに参加して頂くため「部門別協議会」というかたちをとらず、四つの「事例研究分科会」方式にしました。

大会第一日目

基調講演

中曽根康弘元総理をお招きし「大転換期に直面した世界と日本」と題する講演を頂き、大会テーマと時宜にかなったお話を伺うことが出来ました。

事例研究分科会 I

テーマ「出前授業に光を」畑田耕一氏に基調報告を頂き、現在の日本の学校教育がかかえる問題について意見交換がなされ、これからの社会、日本のためにロータリーがなにをしたらいいのかの方向付けがなされました。

事例研究分科会 II

テーマ「大規模災害が起こったとき」河田恵昭氏に基調報告、貝原俊民氏の講演、宮本孝氏、山口徹氏に報告を頂き、ロータリーとして防災・減災対策にどのように取り組むかを学ぶことが出来ました。

事例研究分科会 III

テーマ「ホームレスゼロ運動」坂本環氏に大阪市のホームレスの実情につき報告を頂き、松島トモ子氏、山本憲一氏、佐野章二氏の話と質疑応答があり、ロータリーの奉仕活動にとって意義のある内容となりました。

事例研究分科会 IV

高野弘氏を迎え、家族の集いも兼ねてフォトコンサートという新しい形式を試みました。

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

渡辺好政ご夫妻をお迎えしての晩餐会は、399名のご参加を頂き、日本の文化力（元祖お笑い）、「狂言」にて100周年を寿ぎました。

大会第二日目

太田知事、關市長からご祝辞を頂いた後、大阪フィルハーモニー交響楽団による記念演奏会を開催しました。指揮者には元ロータリー奨学生松尾葉子氏を迎え、20世紀初頭・ロータリー草創の頃を偲んでドヴォルザークやガーシュインの曲を選び演奏して頂きました。

続いて大会本会議を開始し、諸報告と議事に続き、宮田ガバナーより大会決議案の採択がなされました。

今回地区大会に多数の皆様方のご出席を頂き、RI会長代理から「満点」の講評を頂戴いたしましたことは、この上ない感激で、関係各位に心より厚く御礼申し上げます。

ロータリーの友

地区委員 大西宏史 (大阪北)

地区委員の主要任務のひとつ、『友』誌への尚一層の関心を喚起し、読書率向上のためのさまざまな環境づくりのための活動記録概略を以下に報告致します。

- 1 地区情報・広報委員会(7月)をオブザーブし、各RCが計画中の100周年記念事業予定リストを入手。これをもとに『友』誌への投稿を個別に呼びかけ。
- 2 地区合同委員会(7月)において、『友』誌の編集方針の発表(「ロータリーの友委員会出席時に配布された資料をもとに)、及び各RCよりの『友』誌への積極的投稿を呼びかけ。
- 3 「ロータリーの友委員会」に出席(7月)、そのレポートを「ガバナー月信」(9月号)に掲載。
- 4 『友』誌に関するアンケートを全86RC対象に実施(11月)、回収(12月)。ロータリアンとして、またクラブとして、『友』誌をどのようにとらえているか、さまざまな実践・活用事例などを一覧表にまとめて各RC宛フィードバック(翌年1月)。
尚、ガバナー補佐会議、及び地区幹事会(共に2月開催)の場で資料提出し、結果を報告。
- 5 『友』誌(1月号)に、「地区の便り」で大阪城RC、大阪大手前RCのロータリー100周年記念事業の記事を掲載。
- 6 古市 實会員(大阪北RC)を『友』誌編集部が特別インタビュー取材(11月)、『友』誌の新企画、「風紋」に掲載(1月号)。
- 7 各RCで『友』誌配布に際し、是非読んでいただきたい記事、興味深い記事、等について、各クラブ雑誌委員長宛メッセージ送付を開始(*1月以降、毎月初発信を継続。アンケート回答の中より、要望がありスタート。ロータリーの友地区委員と各RC雑誌・広報委員長との間の定期的なコミュニケーションツールのひとつとしての機能を期待)
- 8 『友』誌(3月号)に第2660地区大会略報を掲載。
- 9 『友』誌(4月号)の「わがまち わが地区」に「熊野街道と住吉信仰 水都大阪は熊野詣での出発地点」と題して、高木美千子会員(大阪住吉RC)に執筆頂き、掲載。(*当地区の会員の中より素晴らしい執筆家の方々にもどしどし登場・参画いただくことで、より身近で充実した『友』誌になることを期待)

10 『ロータリーの雑誌月間』を迎えて、3月30日（水）の卓話を皮切りに、4月には4RCに赴き、合計5RCの例会で卓話を担当。

昨年末に実施した『友』誌に関するアンケートのデータにもふれながらいろいろな実例を紹介。（*今後共積極的に『友』誌と向かい合っていただくための少々刺激的（?）、かつ激励的なメッセージも添えて）

その他（補足）：

●各RCでの『友』誌配布前（1週間ほどはやめ）に、『友』誌が地区委員には届きます。【『友』誌の配布に際して】のタイトルで当月号の記事の中、是非読んで頂きたい記事、興味を感じた記事、当地区の各RCが投稿し掲載されている記事などの一覧表を作成して全86RCに送信するため、全ページに大急ぎで目を通しました。『友』誌はその気になれば集中して1週間で読みきることができる、ということを実感しました。

●この度の『友』地区委員担当経験を通じて、今まで気が付いていなかったこと、ロータリーライフの多様性と奥深さなど、実に多くのことをあらためて『友』誌よりまなぶことができました。このような機会を与えていただいたことを感謝いたしております。

財務委員会

委員長 栢田圭児 (大阪北)

委員 高野正康 (大阪東)

同 松尾雅明 (大阪西)

会計 廣田元孝 (大阪北)

本年度は会員数激減の傾向を踏まえた緊縮財政のもと、期間収支の均衡を図る方針を掲げてきましたところ、幸いにして会員数減少にやや歯止めがかかった状態となりました。また特別会計にはできるだけ残高を残さない方針をとっています。特記事項として、前年度に当地区で開催された国際大会について、RIから交付された報奨金の処理に関しては、期中に承認頂いた地区資金補正予算に基づいて地区基金への追加、国際大会記念事業費の支出に充当しました。

(1) 一般会計

当初4200名の会員数見込みは、期首現在4261名と微増しました。人頭地区資金のほかRI助成金、地区大会、協議会剰余金、上記補正予算による受入金により本年度の地区運営資金総額は47,751,904円となり、地区運営資金支出合計は45,697,159円で年度収支差額は2,054,745円、次期繰越金は5,753,469円となりました。

地区活動資金は、人頭地区資金のほか100周年特別会費、地区基金、青少年交換ファンドからの受け入れ金により総額42,211,289円となり、活動資金支出合計は地区基金からの受入金2,000,000円の返金を含め33,934,720円で、年度収支差額は8,276,569円で次期繰越金は20,118,392円となりました。

以上により一般会計資金残高は25,871,861円となりました。

(国際大会報奨金)

国際大会開催にかかるRI報奨金36,978,819円は補正予算に基づいて地区基金、地区広報基金に各10,000,000円、国際大会記念事業費12,900,000円、残高4,078,819円を地区運営資金に組入れております。地区広報基金10,000,000円のうち7,281,638円は100周年記念日に日刊紙に掲載した全面広告に充当し、記念事業費(プロムナード資金寄付)は国際大会記念事業費全額(12,900,000円)を支出済みであります。

(2) 基金及び特別会計

地区基金の一部2,000,000円及び青少年交換ファンドの前期繰越金については当初予算通り全額を一般会計に組入れ、世界社会奉仕基金については事業の特質から次期へ所要の繰越額を計上しています。

地区協議会の剰余金は全額を地区運営資金へ組入れ、地区大会の剰余金は次年度地区大会特別会計へ8,000,000円を繰越し、残額を地区運営資金へ繰入れています。尚、資金不足を見込んで当初、地区基金から活動資金に受入れた2,000,000円については、期末に戻入れすることができました。

以上により基金及び特別会計の残高は、合計33,941,810円となりました。

以上の通り本年度はRIからの臨時収入に関係する当初予算の補正による収支と、地区大会、協議会の成功等の結果として、年度収支は相当額の剰余金を生むこととなり、年度末の繰越金総合計は、59,813,671円となりました。

今後とも会員数の動向を踏まえつつ健全財政を保っていかれることを期待して財務委員会報告と致します。
以上

2004～2005年度 国際ロータリー第2660地区 地区資金決算書

2004年7月 1日～2005年6月30日

ガバナー 宮田 宏章
地区財務委員長 栢田 圭児
地区会計 廣田 元孝

地区運営資金

【収入の部】 * 単位は全て (円)

科 目	※予算額	実 績	備 考
1. 地区資金	36,218,500	36,709,750	
2. RI助成金	2,262,632	2,350,318	
3. 地区協議会余剰金	1,428,863	1,428,863	
4. 地区大会余剰金	1,500,000	1,790,590	
5. 雑収入	0	1,393,564	月信、小冊子、自動販売機
6. 国際大会報奨金	4,057,740	4,078,819	(注1)
収入合計	45,467,735	47,751,904	

【支出の部】

科 目	予算額	実 績	備 考
A. 負担金			
1. ガバナー会 200円×4,200名	840,000	854,530	
2. ロータリー文庫 300円×4,200名	1,260,000	1,281,480	
小 計	2,100,000	2,136,010	
B. 会議費			
1. 地区チームLTS	70,000	69,435	
2. 会長エレクトTS	800,000	479,988	
3. 地区合同委員会	1,000,000	1,193,188	
4. 財団セミナー	450,000	255,465	
5. DGPGGE会議	1,200,000	389,190	
6. G補佐・地区幹事会	100,000	0	
7. GE国際協議会	730,000	730,000	
8. IM広報活動補助金	—	2,402,700	前年度分支出額
9. 予備費	200,000	0	
小 計	4,550,000	5,519,966	
C. ガバナー事務所費			
(エレクト事務所費)	31,750,000	30,437,038	
D. ガバナー月信費			
	6,000,000	7,322,145	前年度分最終号支払額含む
E. ガバナー補佐経費			
	500,000	182,000	
F. 直前DG記念品			
	100,000	100,000	
G. 総予備費			
	500,000	0	
支 出 合 計	45,500,000	45,697,159	
年度収支差額	-32,265	2,054,745	
前期繰越金	3,698,724	3,698,724	
次期繰越金	3,666,459	5,753,469	

ガバナー事務所経費

科 目	金 額	実 績	備 考
1. 家賃・光熱費	4,500,000	4,331,454	
2. 給料・手当	18,300,000	19,055,963	
職員社会・労働保険料	2,200,000	2,114,358	
3. コンピューター関係	350,000	371,865	
4. DGGE交通会合費	600,000	550,790	
5. 印刷費	1,200,000	1,361,910	
6. 交通通信費	1,700,000	1,262,801	
7. 文献費	100,000	61,629	
8. 事務用品費	1,000,000	387,085	
9. 什器備品費	200,000	123,123	
10. 雑費	1,300,000	816,060	
11. 予備費	300,000	0	
合 計	31,750,000	30,437,038	

※今年度地区資金決算書の予算額は、一部(補正なし)を除き2005年1月31日作成した補正予算額であります。
※国際大会報奨金受入額は、注1、注2、注3、注4、合計36,978,819円であります。

地区活動資金

【収入の部】

* 単位は全て (円)

科 目	予算額	実績	備 考
1. 地区資金	29,400,000	30,047,500	
2. 100周年特別会費	4,200,000	4,276,000	
3. 地区基金及び青少年交換ファンドから	4,000,000	7,887,789	地区基金 2,000,000円 青少年交換ファンド 5,887,789円
収入合計	37,600,000	42,211,289	

【支出の部】

科 目	予算額	実績	備 考
A. 地区委員会活動費			
1. DG指名(委)	100,000	0	
2. 意義ある業績賞(委)	40,000	960	
3. クラブ奉仕部門			
クラブ奉仕(委)	540,000	602,316	
拡大・増強(委)	230,000	213,013	
情報・広報(委)	2,100,000	2,100,000	
4. 職業奉仕部門			
職業奉仕(委)	160,000	134,739	
5. 社会奉仕部門			
社会奉仕(委)	1,100,000	225,536	
6. 青少年奉仕部門			
新世代合同委員長会議	32,000	10,396	
青少年活動(委)	2,835,000	3,090,181	
ローターアクト(委)	4,750,000	4,745,053	
インターアクト(委)	2,280,000	2,201,859	
7. 国際奉仕部門			
国際奉仕(委)	130,000	8,097	
世界社会奉仕(委)	550,000	294,744	
青少年交換(委)	10,800,000	8,961,488	
8. ロータリー財団部門			
ロータリー財団部門(委)	100,000	113,432	
財団情報・増進(委)	60,000	52,300	
財団奨学金・学友(委)	1,530,000	1,164,617	
研究グループ交換(委)	3,100,000	2,794,907	
財団人道的補助金(委)	250,000	65,245	
9. 米山奨学部門			
米山奨学(委)	530,000	355,837	
10. 100周年部門			
100周年(委)	4,800,000	4,800,000	
12. 予備費	583,000	0	
13. 地区基金へ戻し入れ	—	2,000,000	
小 計	36,600,000	33,934,720	
RI会長DG強調事業費	1,000,000	0	
支出合計	37,600,000	33,934,720	
年度収支差額	0	8,276,569	
前期繰越金	1,696,000	11,841,823	
次期繰越金	1,696,000	20,118,392	

地区基金会計

【当期組入額】

* 単位は全て (円)

科 目	予算額	実績	備考
前期繰越金	10,000,044	10,000,044	
国際大会報奨金	10,000,000	10,000,000	(注2)
地区活動資金より戻し入れ	—	2,000,000	
計	20,000,044	22,000,044	

【支出の部】

科 目	予算額	実績	備考
地区活動資金へ	2,000,000	2,000,000	
次期繰越金	18,000,044	20,000,044	

地区広報基金

* 単位は全て (円)

科 目	予算額	実績	備考
国際大会報奨金	10,000,000	10,000,000	(注3)

【支出の部】

科 目	予算額	実績	備考
RI100周年記念新聞広告費用	—	7,281,638	
次期繰越金	—	2,718,362	

特別会計

1. 国際大会記念事業費

科 目	予算額	実績	備考
国際大会記念事業資金	12,900,000	12,900,000	(注4)

【支出の部】

科 目	予算額	実績	備考
国際大会記念事業資金	—	12,900,000	花と緑の推進基金
次期繰越金	—	0	

2. 地区協議会

【収入の部】

* 単位は全て (円)

科 目	予算額	実績	備考
クラブ拠出金 130,000円×86クラブ	11,180,000	11,180,000	
収 入 計	11,180,000	11,180,000	

【支出の部】

科 目	予算額	実績	備考
会場費	11,180,000	6,913,796	
講演費		686,666	
記録費		1,245,300	
会合費		271,083	
印刷費		541,090	
通信費		64,143	
雑 費		29,059	
支 出 計	11,180,000	9,751,137	
チャリティランチョン分として運営資金へ	—	1,428,863	
計	11,180,000	11,180,000	

特別会計

3. 地区大会資金

【収入の部】

* 単位は全て (円)

科 目	予算額	実績	備考
1. 地区資金 7,000円×4,342名	29,400,000	30,394,000	
2. 参加者登録料	15,400,000	28,835,000	
3. 雑収入	500,000	50,129	
収 入 計	45,300,000	59,279,129	

【支出の部】

科 目	予算額	実績	備考
1. 大会運営費	45,100,000	49,488,539	
2. RI会長関係費	200,000	0	
3. 直前DG記念品(運営資金へ)	0	0	
支 出 計	45,300,000	49,488,539	
収 支 差 額	0	9,790,590	
剰 余 金			
地区大会特別会計(次年度)		8,000,000	
地区運営資金		1,790,590	

4. 青少年交換ファンド

委員会: 青少年交換委員会

委員長: 土井 晶三

【収入の部】

* 単位は全て (円)

科 目	予算額	実績	備考
前期繰越金	2,000,000	5,887,789	

【支出の部】

科 目	予算額	実績	備考
地区活動資金へ	2,000,000	5,887,789	

青少年交換ファンドは、従来、特別会計の部にて予算、及び決算をしていましたが、本年度より本会計(地区活動資金)に組入れることと致しました。

5. 世界社会奉仕基金

委員会: 世界社会奉仕委員会

委員長: 植村 宏一郎

【収入の部】

* 単位は全て (円)

科 目	摘 要	予算額	実績	備考
前期繰越金			2,278,682	
クラブ拠出金		1,500,000	2,415,000	
特別基金			648,000	
受取利息			9	
収 入 の 部 合 計		1,500,000	5,341,691	

【支出の部】

科 目	摘 要	予算額	実績	備考
支援金			1,158,031	
振込み手数料			13,000	
プロジェクト資金		1,500,000	296,136	
振込み手数料			420	
特別基金			648,000	
振込み手数料			2,700	
支 出 の 部 合 計		1,500,000	2,118,287	
差引 次期繰越金		0	3,223,404	

特別会計

6. 米山奨学生生活動費

委員会: 米山奨学委員会

委員長: 山本 和雄

* 単位は全て (円)

【収入の部】

科 目	摘 要	予算額	実績
(財)米山記念奨学会より	50,000円 × 49名	2,400,000	2,450,000
カウンセラー研修会補助費		0	171,500
レクリエーション参加費		0	454,000
選考試験補助金55名分	7500円 × (55名 - 30名) + 8500円 × 30名	0	442,500
米山奨学歓送会登録費		0	100,000
預金利息		0	12
収入の部 合計		2,400,000	3,618,012

【支出の部】

科 目	摘 要	予算額	実績
米山活動費	第1回カウンセラー研修会	2,400,000	77,579
	レクリエーション		1,205,142
	第2回カウンセラー研修会		59,280
	選 考 費		255,972
	歓 送 会		776,790
	オリエンテーション		564,694
	学友会補助		20,000
	印刷費及び郵送費		82,030
	雑 費		192,634
	(財)米山記念奨学会への返金		383,891
支出の部 合計		2,400,000	3,618,012
差引 次期繰越金		0	0

監 査 報 告

私は、国際ロータリー第2660地区の2004～2005年度 地区運営資金、地区活動資金および特別会計について監査した結果、正確適正であることを確認します。

2005年 8月 24日

会計監査

湯浅光章 

